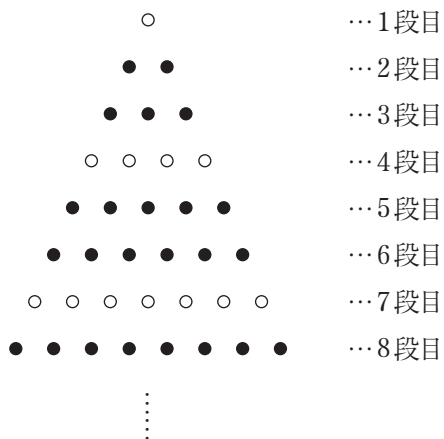


〔3〕 図のような規則で白玉と黒玉が並んでいる。



(1) 1段目から13段目までにふくまれる白玉と黒玉の個数は全部で 個である。

(2) 1段目から20段目までにふくまれる白玉の個数は全部で 個である。

(3) 1段目から数えて黒玉の合計の数が、はじめて100個以上になるのは、 段目である。